

第 35 回建設業経理士検定試験における試験問題の誤りについて

令和 6 年 9 月 8 日(日)に開催されました第 35 回建設業経理士検定試験において、1 級の試験科目である「財務分析」の試験問題に以下の誤りがございました。

1 級 財務分析 第 2 問

次の文中の に入る最も適当な用語を下記の〈用語群〉の中から選び、その記号（ア～ヘ）を解答用紙の所定の欄に記入しなさい。（15 点）

建設業における企業経営の総合評価の一つである経営事項審査は、度重なる改正がおこなわれているが、その審査項目の 4 つの枠組みは維持されている。その 4 つとは、経営規模（ $X1 \cdot X2$ ）・ （Y）・技術力（Z）・ 等（W）である。

X2 には 2 つの審査内容があり、 と がある。経営事項審査では、前者の には を用いる。一方、後者の は、一般的には「 + 支払利息 + 減価償却費」の算式で求められるが、経営事項審査では「 + 減価償却実施額」として算出し、その が用いられる。

また、 では 8 つの審査項目がある。この中で数値が高いほど好ましい項目で、 により審査されるものは と である。固定比率の逆数をとった指標が であるが、連結財務諸表により審査を受ける企業は、分子の は から を控除した数値を使用する。

〈用語群〉

ア 経営成績	イ 自己資本回転率	ウ 純支払利息比率	エ 営業利益
オ 純資産	カ 社会性	キ 直近の決算数値	ク 利払前税引前償却前利益
コ 営業キャッシュ・フロー	サ 株主資本	シ 税引前当期純利益	ス 公共性
セ 固定長期適合比率	ソ 自己資本	タ 経営状況	チ 固定負債比率
ト 税引後当期純利益	ナ 非支配株主持分	ニ 経常利益	ネ 直近 2 期の平均値
ノ 評価・換算差額等	ハ 自己資本対固定資産比率	フ 利益剰余金	ヘ 総資本売上総利益率

本問につきましては、解答箇所 9・10 において 2 つの選択肢を記入させる問題でしたが、出題範囲として定めていた令和 5 年 12 月（問題作成基準日）時点での経営事項審査において、あてはまる選択肢は 1 つしかありませんでした。

受験者の皆様にご迷惑をお掛けいたしましたことを深くお詫び申し上げます。

なお、本問の採点に当たっては、受験者の不利とならないように配慮しました。

また、今後の出題に当たっては、万全の態勢で細心の注意を払い、再発防止に努めてまいります。